

子どもの予防接種

予防接種とは感染症の原因となるウイルスや細菌、または菌が作り出す毒素の力を弱めて予防接種液(ワクチン)をつくり、これを体に接種して、その病気に対する抵抗力(免疫)をつくることです。

子どもの
予防接種
共通のこと

場 所	町立下川病院
日 程	毎週火曜日午後1~2時受付
料 金	無料

定期予防接種

RSウイルス感染症

◆ P24 をご参照ください。

B型肝炎

対 象 者	◆ 生後2~8か月(接種上限11か月)
回 数	◆ 3回 ・ 2回目は1回目から27日以上あける ・ 3回目は1回目から139日以上あける

ロタウイルス

対 象 者	◆ 生後2か月~生後23週(生後6週~23週)
回 数	◆ 2回 ・ 1回目を生後2月から14週6日までに接種 ・ 2回目は1回目接種後27日以上あける



5種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ、ヒブ）

対象者	◆第1期初回…生後2～6か月（接種上限7歳5か月） ◆第1期追加…初回終了後6～18月までの間（接種上限7歳5か月）
回数	◆第1期初回…20～56日までの間隔をあけて3回 ◆第1期追加…初回接種後6～18月まで(6月以上)の間隔をおいて1回

小児用肺炎球菌

対象者	◆第1期初回…生後2～6か月（接種上限4歳11か月） ◆第1期追加…生後12～14か月（接種上限4歳11か月）
回数	◆接種開始が生後2～6か月の場合 ・27日以上の間隔をおいて初回3回（生後12月までに終了。ただし、初回2回目の接種を生後12月以降に行った場合は3回目の接種はしない。） ・初回接種後、60日以上の間隔をおいて追加1回 ◆接種開始が生後7～11か月の場合 ・4週以上の間隔をおいて初回2回（生後1歳11か月までに終了） ・2回目接種後、60日以上の間隔で、生後12か月以降に追加1回 ◆接種開始が1歳0か月～1歳11か月の場合 ・60日以上の間隔をおいて2回 ◆接種開始が2歳0か月～4歳11か月の場合 ・1回



BCG（結核）

対象者	◆生後5～7か月（接種上限11か月）
回数	◆1回

麻しん風しん

対象者	◆第1期…1歳0～11か月 ◆第2期…就学前の1年間 ※就学时健診に併せて実施
回数	それぞれ1回 ◆詳細は、対象者にお知らせします

水痘（水ぼうそう）

- 対象者 ◆1回目…1歳0～2か月（接種上限2歳）
◆2回目…1回目終了後6～12月まで（接種上限2歳）
※水痘を発症したことのある児は対象外
- 回数 ◆2回（1回目から6～12月（3か月以上）の間隔をおく）

日本脳炎

- 対象者 ◆第1期初回…3歳0～11か月（接種上限生後6か月～7歳5か月）
◆第1期追加…4歳0～11か月（接種上限生後6か月～7歳5か月）
◆第2期…9歳0～11か月（接種上限12歳11か月）
- 回数 ◆4回
・1期初回(2回)…6～28日まで（6日以上）の間隔をおく
・1期追加(1回)…初回接種後おおむね1年を経過した時期（6月以上）
・2期（1回）…1回接種

2種混合（ジフテリア、破傷風）

- 対象者 ◆小学6年生（接種上限11歳0か月～12歳11か月）
- 回数 ◆1回
◆詳細は、対象者にお知らせします

ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん等）

- 対象者 ◆中学1年生の女の子（小学6年生～高校1年生）
- 回数 ◆・14歳以下…2回。1回目から6～12月の間隔をおく
（少なくとも5月以上の間隔）
・15歳以上…3回。2回目は少なくとも2月の間隔をおく
（少なくとも1月以上の間隔）
3回目は1回目接種から6月の間隔をおく
（少なくとも3月以上間隔）

任意予防接種

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

対象者	◆1歳0か月～就学前まで
回数	◆1回
料金	◆1回1,200円



インフルエンザ

対象者	◆接種当日に高校3年生に相当する年齢以下の人
回数	◆不活化ワクチン…生後6か月～12歳は2回（4週の間隔をおく） 13歳～高校3年生は1回 ◆経鼻生ワクチン…2歳～高校3年生は1回
場所	◆町立下川病院 ※他の医療機関での接種を希望する場合は、総合福祉センター「ハピネス」にご相談ください。
実施期間	◆毎年10月～翌年3月 ※インフルエンザが流行する前の12月上旬までに接種を済ませるようにしましょう。 ※医療機関によって接種開始時期や終了時期が違います。
料金	◆不活化ワクチン…700円/回 ◆経鼻生ワクチン…1,900円

子どもの予防接種のお問合せ

お問合せ 電話、窓口で総合福祉センター「ハピネス」にお問合せください。
◆電話…4-3356

